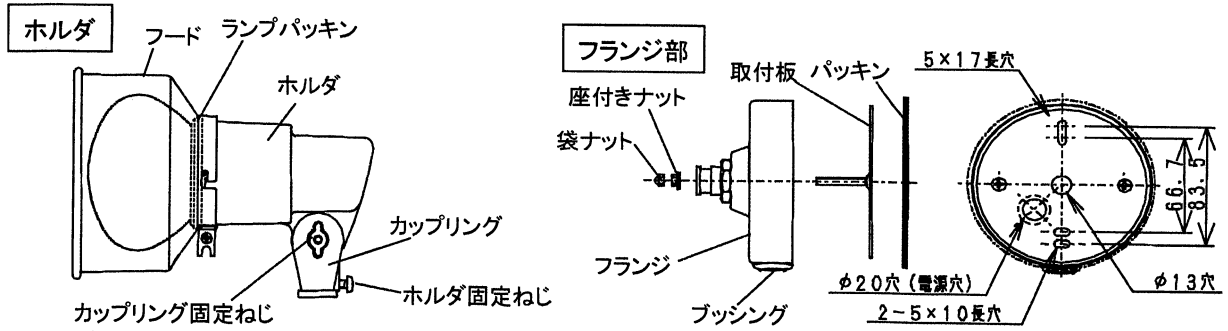




●製品概要図 (図は一部抽象化しています。)



■照明器具の取付方法

フランジ取付タイプの取付方法

●器具の取付方法

接続具は付属のフランジを必ず使用してください。

- ・口出線を、ホルダー接続部に挿入し、ホルダーをホルダ固定ねじでフランジに仮止めしてください。(図1)  
(固定ねじは、接続具先端の矢印部: ←に締付けてください。接続具にホルダーをしっかり押し込み固定ねじを締付けたら ← の位置に固定されます。)
- ・電源線をパッキン、取付板の電源穴を通して引き出してください。  
取付面より電源線を引き出せない場合は、フランジのブッシングより引き出してください。
- ・取付板とパッキンを共締めして取付面に取付けてください。(天井面には取付けできません。)  
取付面は器具質量に十分耐えられる強度を確保し、確実に取付けてください。  
※取付に不備がありますと、落下の原因となります。
- ・圧着スリーブ等を使用し、口出線に電源線を確実に接続してください。  
その際、自己融着テープ等により確実に絶縁処理をおこなってください。  
また、端末部付近の絶縁体露出部には、絶縁テープなどで覆い保護を施してください。(図2)  
(電気設備技術基準: 第12条 及び 内線規定: 1335-7を参照してください。)
- ・接地端子ねじからD種(第三種)接地工事をおこなってください。(図3)
- ・フランジを座付きナットで取付板に確実に固定してください。取付ねじに袋ナットを取付けてください。  
※屋外の壁面に取付ける場合には、フランジのブッシングが下側になるように取付けてください。  
電線引出口から器具内に雨水が浸入するおそれがありますから逆向取付はしないでください。
- ・ホルダー照射方向を決め、カップリング固定ねじとホルダ固定ねじを確実に固定してください。(図1)
- ・屋外使用の場合、カップリングの電線引出口が水平より下になるように取付けてください。(図4)  
水平より、上方向になるように取付けますとカップリングの電源線引出口から雨水が浸入するおそれがありますから逆向取付はしないでください。
- ・照射面との距離は、1.5m以上離してご使用ください。(図5)  
また、照射面および器具の周囲には、燃え易い物を置かないでください。火災の原因となります。

取付板背面図

図1 フランジの固定

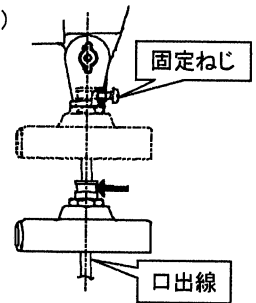


図2 電線の保護

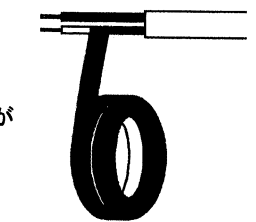


図3 接地端子ねじ

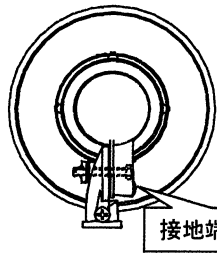


図4 カップリング方向の注意

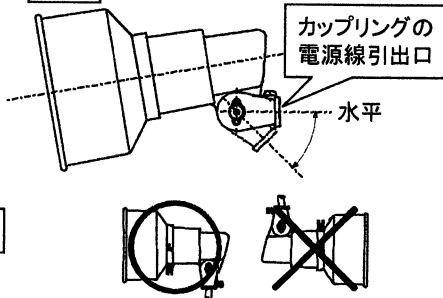
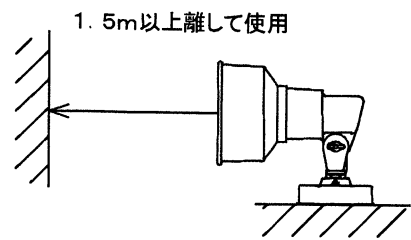


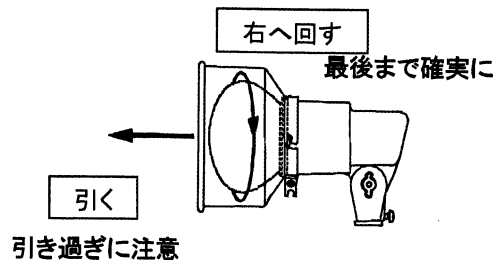
図5 照射距離の注意



●ランプの取付 (図6)

- ・適合ランプ以外のランプは、使用できません。  
適合以外のランプの使用は火災・ランプ落下・浸水の原因となります。
- ・ランプの口金と、ソケットがかみ合いましたら、ランプを手前に引きながら右に回して最後まで確実に取付けてください。  
※ランプを強く引き過ぎるとランプの破損やソケット脱落のおそれがありますので、ランプとパッキンの隙間は5mmを目安にしてください。  
過度にランプを引き過ぎないようにご注意ください。
- ・ランプとランプパッキンが完全に密着していることを確認してください。  
密着に不備がありますと、浸水・感電の原因となります。

図6 ランプの取付



## アーム取付タイプの取付方法

### ●器具の取付方法

- 器具の取付は、当社指定のアームをご使用ください。  
ホルダの口出線をアームの先端から挿入し、ホルダをホルダ固定ねじでアームに確実に固定してから、更にゆるみ止めナットで固定してください。(図7)  
(固定ねじは、アーム先端の矢印部: ↓に締付けてください。アームにホルダをしっかりと押し込み、固定ねじを締付けると↓の位置に固定されます。)
- 圧着スリーブ等を使用し、口出線に電源線を確実に接続してください。  
その際、自己融着テープ等により確実に絶縁処理をおこなってください。  
また、端末部付近の絶縁体露出部には、絶縁テープなどで覆い保護を施してください。(図2)  
(電気設備技術基準:第12条 及び 内線規定:1335-7を参照してください。)
- 接地端子ねじからD種(第三種)接地工事をおこなってください。(図3)

図7 アームの固定

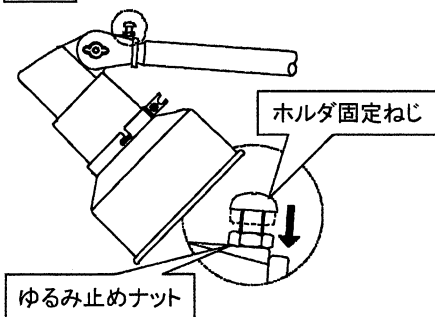
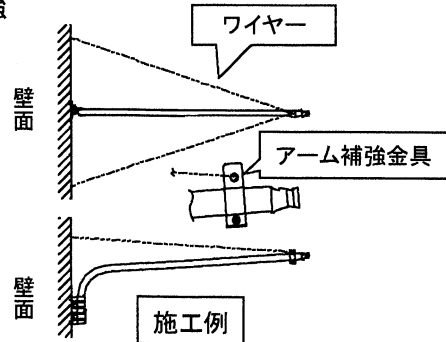


図8 アームの取付補強

アーム補強金  
(別売)



- 屋外使用の場合、カップリングの電線引出口が水平より下向きになるように取付けてください。(図4)  
水平より、上向きになるように取付けますと、カップリングの電線引出口から雨水が浸入するおそれがありますから逆向取付は避けてください。
- 照射面との距離は、1.5m以上離してご使用ください。(図5)  
また、照射面および器具の周囲には、燃えやすい物を置かないでください。火災の原因となります。
- アームは、質量に耐える場所に確実に取付けてください。取付に不備があると、落下の原因となります。  
(詳細は、別紙指定アームの取扱説明書を参照ください。)
- アームを取付ける場合には必ずアーム補強金具(別売)を併用してワイヤーにて壁面(看板面)へ強固に支持固定してください。(図8)

### ●ランプの取付 (フランジ取付タイプを参照ください)

### ■照明器具の使用制限

使用制限の範囲内でご使用ください。(下図参照)

- ※使用制限の範囲内であっても、上方向に照射する場合は、フードの内部に水が溜まる場合があります。  
フードには水抜き穴が設けてありますが、水抜き穴が詰まると、器具内に浸水するおそれがあります。  
器具の点検・ランプ交換時には、必ず水抜き穴を清掃してください。

水平面	壁面	アーム取付
<p>使用可能 340°</p> <p>使用可能 80°</p> <p>使用不可 40°</p>	<p>使用可能 340°</p> <p>使用不可 80°</p> <p>使用可能</p>	<p>使用不可</p> <p>アーム</p> <p>80°</p> <p>50°</p> <p>使用可能</p> <p>電源線引出口</p> <p>使用可能</p> <p>アーム</p> <p>80°</p> <p>50°</p> <p>使用不可</p> <p>電源線引出口</p>
<p>天井面</p> <p>使用不可</p>	<p>使用可能</p> <p>使用不可 80°</p> <p>使用可能 340°</p>	<p>アームはイワサキ指定品を使用してください。 電源線引出口は必ず下向きとしてください。 アームを取付ける場合には必ずアーム補強金具(別売)でアームを強固に支持固定してください。</p>

## お客様への安全に関するご注意

- ご使用前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ず保管してください。又、ランプ交換や器具清掃時などにも安全のために再度内容をご確認ください。

警告	
<p>●器具を改造しないでください。 火災・感電、また落下によるケガのおそれがあります。</p> <p>●万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、すぐに電源を切ってください。このような状態で使用すると火災・感電のおそれがあります。 異常状態がおさまったことを確認してから、施工者又は弊社CSセンターにご連絡ください。</p> <p>●熱によって影響のある取付面に使用する場合は、被照射面までの距離は1.5m以上離してください。 火災・変色・変質等の原因となります。</p>	<p>●ランプの交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って確実にこなしてください。 不備がありますと、火災・感電・浸水・落下の原因になることがあります。</p> <p>●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。 感電の原因となります。</p> <p>●ランプの交換の際は、器具銘板及び取扱説明書を参照し、適合する種類・ワット(W)数のランプをご使用ください。 また、器具を屋外に取付けるときは、必ず「屋外用」のランプをご使用ください。過熱によりランプの破裂・防水不良のおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;"><b>ランプ交換</b></p>

注意	
<p>●点灯中および消灯直後はランプおよび器具が高温となっていますので、お手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。 感電・やけどの原因となります。</p> <p>●寿命で不点になったランプを交換の際には、ランプパッキンを同時に交換してください。 ランプパッキンに亀裂や劣化が生じると浸水による絶縁不良の原因となります。</p> <p>●器具の周辺に枯葉等が溜まりやすい場所でご使用の場合には定期的に清掃してください。 火災の原因となります。</p> <p>●上向き照射で使用の場合には、フード内部を定期的に清掃ください。水抜き穴が詰まり、器具内浸水による絶縁不良の原因となります。</p>	<p>●照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯 (JIS C 8105-1 解説による。)</p> <p>●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。</p> <p>●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。</p> <p>●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至るおそれがあります。</p> <p>●ランプパッキンは消耗品です。定期的に交換が必要です。 寿命で不点になったランプを交換する際には、必ずランプパッキンも同時にお取り替えください。 器具内浸水による絶縁不良の原因となります。</p>

■ランプパッキンの保守について  
ランプパッキンは補修用交換部品です。  
定期的に点検をおこない交換してください。

器具形式	S00F		K00F	
	白色	黒色	白色	黒色
パッキン形式	S/パッキン/W	S/パッキン/BK	K/パッキン/W	K/パッキン/BK

### ■保守上のご注意

- ランプ交換および器具清掃時は、安全に関するご注意を再度ご確認ください。  
【器具の清掃】器具の汚れは、柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから拭いてください。  
・直接殺虫剤をかけないでください。変色・変質の原因となります。  
・ベンジン・シンナーなどの揮発性のもの及び酸・アルカリ性の洗剤などで拭かないでください。
- 【ランプの清掃・交換】清掃する際は、ランプを器具から外して柔らかい布に水を浸し、よく絞ってから拭いてください。  
・ランプの取外しは、「ランプの取付」と逆の順序でおこなってください。  
無理に外しますとソケットの破損や外れの原因となります。
- 保証期間について この照明器具の保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。ただし、安定器は3年間です。  
ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 交換部品について 適合ランプをご使用ください。 **点灯時、消灯直後ランプ高温注意**

お客様へ ランプ交換など保守のために、下記施工記録表をご確認のうえ、適切な保守部品をお求めください。  
なお、安全のため保守作業は、できるだけ施工者にご依頼ください。

### ■保守のための記録

施工者様へ

安全で便利な保守のために、各欄に記入しお客様に渡してください。

お客様へ

ランプなどの交換の際は、適切な部品をお求めください。  
なお、安全のため保守作業はできるだけ施工者にご依頼ください。

施工記録表

工事名	年 月 日取付
施工者名	TEL
器具形式	( 台)
電 源	
ブレーカー番号	

- 商品に関するご相談窓口 (お問い合わせの際は、器具銘板または施工記録表で器具形式を確認のうえご連絡ください。)

【CSセンター】電話番号 048(554)1124

※電話番号等、変更になる場合があります。予めご了承ください。

**EYE** 岩崎電気株式会社

本社 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16  
馬喰町第一ビルディング  
電話番号: 03(5847)8611(大代)  
http://www.iwasaki.co.jp

EM000695-3

LIGHTING EQUIPMENT DIV.